

評価・提言

1 今年度の自己評価について

(1) 重点目標の達成状況

園内危険箇所の確認

細かな怪我等も場所・時間も含めチェックされていてデータとして生かされていた。

園内の老朽箇所等のチェックされていて安心感が持てた。

就職に関わるシステム

自園の良い所を分析し魅力的な物として伝えることが出来ている。

保育内容の公開

コロナ渦で見学については極端に減ってしまったが、見学後の入園率は減っていなかった。

障害児教育における体制作り

一人一人の記録に基づいたデータの共有が図られていることにより、共通した指導ができ成果を上げることができている。

今後は、この蓄積を外部に公開することも必要かと思われる。

2 学校運営についての提言

自己評価より

一年を通して様々な変化を求められることとなったが、職員の協力の元乗り切っていた。

3 教育経営

不自由な中、行事等の見直しができ、実りある一年であった。
決定ではないにしろ今後の指針となっていた。

4 今後取り組むべき課題

家庭に対しての働きかけを検討して欲しい。